

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和6年度分）

施設	名称	栃木市第六地区コミュニティセンター
	所在地	栃木市菌部町2丁目14番9号
	施設内容	コミュニティセンター
指定管理者	名称	社会福祉法人 栃木市社会福祉協議会
	所在地	栃木市今泉町2丁目1番40号
	主な業務内容	地域福祉事業・介護保険事業・障害者自立支援法に基づく事業

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか					
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	利用案内揭示数		4か所	4か所			
	アンケート数		80件	29件			
	利用者意見反映数		1件	2件			
	利用者満足率		80%	97%			
	業務改善数		2件	3件			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅱ	0.8	20	Ⅱ	0.8	20
指定管理者コメント	①施設の設置目的に基づいた基本方針を『栃木市第六地区コミュニティセンター事業計画書』の管理運営方針として明文化し、職員会議等で内容の共有を行ない職員の理解を深めました。また、職員は常日頃から資質向上を念頭に研修会等に積極的に参加し、管理運営に携わってきました。						
	②市民に対する利便性と平等性の確保について、少しでも利用がしやすくなるように、様々な場所に開館時間・利用条件等の案内を掲示しました。また、管理権限を付与された利用の承認・利用承認の制限・利用承認の取消し・利用料金の納付等、関係条例等を遵守し適正に処理することで、平等性の確保に配慮しました。						
	③アンケートについて、昨年度と同様な方法でアンケート通知を利用団体の代表者に送付し返答を得る形にしましたが、返答数が計画よりも大幅に少ない結果となりました。今後は多くの方に意見を募れるよう努めます。アンケートでいただいた意見は施設のより良い運営のために反映させていただきました。						
	④センター内に利用者意見箱を常設し、広く利用者の意見を募ると同時に、ご意見・苦情については適切な対応を心がけました。大きな苦情等はありませんでしたが、利用者からの意見等を取り入れ、3件の改善（折れ戸の修繕、消毒液の設置、使用部屋の交換）を行いました。						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営方針に関し、職員相互に理解を深め研修会にも参加し、適正な運営を行っている。 また、アンケートの結果を反映させ、利用条件等の掲示や利用の承認等を適切に行い、利用者の利便性の向上並びに平等性の確保が図られた。 						

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	利用者数		11,200人		10,234人		
	記事の掲載回数		2回		2回		
	協働事業数		2事業		2事業		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	IV	0.4	8	IV	0.4	8
指定管理者コメント	<p>①今年度の利用者計画を11,200人と設定して施設の運営を行ないましたが、エアコン設備の故障により、利用を控える利用者が多く、目標値に達することはできませんでした。職員は常に利用者安心して利用いただける環境を整え、空き室がある場合は、一般の方も利用いただき、空室の有効活用に努めました。</p> <p>②施設利用についての記事をホームページに掲載し、またイベント告知も館内にポスター掲示するなど、広く市民に対して広報活動を行いました。今後も新規利用者や新規団体の増加に取り組む積極的な広報活動を行います。</p> <p>③地域住民や関係団体等との連携・協働について、第六地区コミュニティ推進協議会が主催する第6地区コミュニティまつりにおいて実行委員となり、地域住民と連携し実施しました。昨年5年ぶりに開催したまつりでしたが今年度も継続して開催することができ、多くの方にご来場いただき6コミのPR活動を行うことができました。</p>						
施設所管課コメント	<p>・エアコンの故障により、夏場の暑い時期にはスポットクーラーや扇風機で対応したが、利用を控える団体が見受けられた。</p> <p>・地域住民や関係団体等との連携事業については、昨年に引き続き第6地区コミュニティまつりを開催するなどの成果が見られた。さらに第六地区コミュニティ推進協議会やそのべ児童館等の各団体との連携事業を積極的に実施してもらいたい。</p>						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	経費削減額		41,460円	113,838円			
	経費削減率		3%	12%			
	施設修繕数		2件	4件			
	業務委託見積合わせ実施件数		2件	2件			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	I	1.0	15	I	1.0	15
指定管理者コメント	<p>①指定管理料及び利用料の収支手続きを適正に行うとともに、定期的に市へ事業報告書を提出しました。</p> <p>②職員は経費削減を心がけ、サービスの低下を招くことのないよう館内に節電協力の掲示や声掛けなどを行い、節電や空調管理に努めました。特に節電についてはデマンド監視装置を取り付け、使用電力のピークを詳細に管理しました。</p> <p>③修繕について、簡易な修繕は老人福祉センター長寿園職員と協力し、職員が行いました。また、建築物定期点検において助言のあった消火器においては、速やかに対応し修繕しました。</p>						
	施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・例月の事業報告書及び利用料の収支手続きは、適切に行われている。 ・節電などで経費を削減しつつも施設は清潔に保たれており、利用者が気持ちよく利用できる環境が整えられている。 ・簡易的な修繕については職員が行い、経費の削減が図られている。 					

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	① 施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	② 職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③ 職員の福利厚生は充実しているか					
	④ 各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
	⑤ 団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	人員配置数			3人	3人	
	研修会参加回数			2回	5回	
	研修会参加者数			3人	延べ5人	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8
指定管理者コメント	<p>①施設を管理する者には、掲げられた要件を満たす防火管理者等の職員を配置して、施設全体の把握に努め、安全管理を徹底し定期的に報告しました。また、日常的な機械・電気の操作や簡易な修繕を行える職員を配置し、施設の管理を行いました。</p> <p>②BCPIに関する研修では図上訓練を実施しました。また、救急法等講習会では、福寿園職員と合同講習会をすることにより職員間の交流も含め、共通認識をすることにより職員の質の向上に努めました</p> <p>③各種税金や健康保険料等について、滞納はありません。</p>					
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・防火管理者、適正な職員配置が行われ、安全管理に配慮し適切な施設の維持管理が図られている。 ・講習会等については、オンラインでの受講や他施設職員との合同講習会を行うなど、職員の資質向上に努められたことが見受けられる。 					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み							
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか					
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか					
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	定期安全点検実施回数		12回/年		12回/年		
	損害賠償保険の加入		100%		100%		
	消防訓練実施回数		2回		2回		
	消防訓練参加者数		80人		50人		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅲ	0.6	12	Ⅲ	0.6	12
指定管理者コメント	<p>①毎日の目視による点検の他、利用点検報告書・最終点検チェックリスト・業務日報等による管理を行いました。また、市が作成した自主点検チェックシートに沿って毎月点検し、必要に応じて報告をしました。更に、館内のみならず、街灯電球修繕や敷地内の管理に十分配慮し、事故の防止に努めました。</p> <p>②緊急時の対応方法を定めた危機管理マニュアルや消防計画を作成し、職員に周知徹底を図り、災害等に備えました。</p> <p>③本施設は複合施設であるため、老人福祉センター長寿園、そのべ児童館と合同で消防避難訓練を実施し、職員及び施設利用者が、共に万が一の際の避難経路や避難の手順について確認することができました。なお、消防訓練時、施設内に利用者等が少なかったのですが、できるだけ参加いただくようお願いし、水消火訓練にも協力いただくことができました。</p> <p>④個人情報については本会の個人情報保護規程に基づき、職員に対して重要性や管理方法の周知徹底をし、情報が外部に漏洩しないよう適切に管理しました。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の安全点検等は適正に実施されており、利用者の安全確保に配慮している。 ・ 緊急時の危機管理体制についても、マニュアルや消防計画の作成、施設全体での消防避難訓練の実施などが行われ、緊急時への備えができています。 ・ 個人情報については、今後も適切な管理に努めていただきたい。 						

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保と サービス向上の取組み	25	20	20	
(2) 施設の効用を最大限に 発揮する取組み	20	8	8	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	15	15	
(4) 施設の管理を安定して 行うための取組み	20	16	16	
(5) 施設の安全対策、 危機管理体制の取組み	20	12	12	
評価点合計	100	71	71	
総合評価		B (良)	B (良)	

第3次評価 (選定委員会評価)	
選定委員会コメント	

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	令和4年3月期	令和5年3月期	令和6年3月期
資産総額	1,983,652,461	1,965,766,261	1,962,114,735
売上高	825,285,169	807,520,501	804,065,009
経常利益	△ 82,602,966	△ 78,435,421	△ 66,888,293
当期利益	39,099,727	△ 78,285,914	△ 72,810,722
経常収支比率	90.9%	91.2%	92.3%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	令和4年3月期	令和5年3月期	令和6年3月期
経常費用	910,352,088	888,350,143	872,437,597
経常収益	827,749,122	809,914,722	805,549,304
経常収支比率	90.9%	91.2%	92.3%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

事務事業及び組織のスリム化を促したことにより、事業費支出及び人件費支出が圧縮いたしました。しかしながら、令和5年度における本会全体の財務状況は、依然として収益事業の実績が思わしくなく、介護保険事業収益や障がい福祉サービス等事業収益の減により経常収益の減少が続いております。繰越金があることも考慮すると、現時点で組織全体の運営に支障はありませんが、経営の安定化に向け、今後もコスト削減と収入源の確保に取り組みを継続いたします。